

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	工業外国語	
科目基礎情報							
科目番号	0072			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生物応用化学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	スティアマルガ デフィン						
到達目標							
英語コンプレックスを少しでも失くし、英語でのコミュニケーションが出来るようになること。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		簡単な技術文章の作成や読解、口頭発表やメールや会話など英語での能動的なコミュニケーションが充分に出来る。		簡単な技術文章の作成や読解、口頭発表やメールや会話など英語での能動的なコミュニケーションがある程度出来る。		簡単な技術文章の作成や読解、口頭発表やメールや会話など英語での能動的なコミュニケーションが出来ない。	
学科の到達目標項目との関係							
D							
教育方法等							
概要		国際化時代の今日、あらゆる分野で英語は日常生活に不可欠であり、特に技術者は英文の仕様書やマニュアルを読解したり作成したりします。また英語による会議や打ち合わせの機会が増えています。もうすでにビジネス界での仕事の標準語が英語になっているわけですから、このクラスを受講する学生達は卒業するまでに工業英語は必ず体得されることを強く望みます。 そのためにも、このクラスは私が一方的に教えるのではなく、生徒達が積極的に自分のレベルにあった課題やプリントにチャレンジして実力をつけていただきます。クラスの講義は英語で行われます。生徒達の英語での課題発表の機会を多くし英語コンプレックスを取り除いていただきます。					
授業の進め方・方法		国際化時代の今日、あらゆる分野で英語は日常生活に不可欠であり、特に技術者は英文の仕様書やマニュアルを読解したり作成したりします。また英語による会議や打ち合わせの機会が増えています。もうすでにビジネス界での仕事の標準語が英語になっているわけですから、このクラスを受講する学生達は卒業するまでに工業英語は必ず体得されることを強く望みます。 そのためにも、このクラスは私が一方的に教えるのではなく、生徒達が積極的に自分のレベルにあった課題やプリントにチャレンジして実力をつけていただきます。クラスの講義は英語で行われます。生徒達の英語での課題発表の機会を多くし英語コンプレックスを取り除いていただきます。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業についての概略説明		
		2週	英語でのコミュニケーションとは		会話に対する恐怖心の軽減		
		3週	学術図書・論文の翻訳		インプット能力の自己確認（1）		
		4週	翻訳結果の英語での発表		アウトプット能力の自己確認（1）		
		5週	ビデオ鑑賞・感想の生での即時発表		インプット、アウトプットの自己確認と相互確認（1）		
		6週	日本文化について英語での発表		異文化理解のための日本文化の理解とその説明（1）		
		7週	映画鑑賞（字幕無し）		インプット能力の自己確認（2）		
		8週	見た映画についてのレポートの英語での発表		アウトプット能力の自己確認（2）		
	2ndQ	9週	中間試験				
		10週	日本語でのメールの書き方（実際に書いてもらう）		異文化理解のための日本文化の理解とその説明（2）		
		11週	英語でのメールの書き方（実際に書いてもらう）		異文化理解のための日本文化の理解とその説明（3）		
		12週	英会話実習：研究室訪問		英語を用いたコミュニケーション能力の腕試し（1）		
		13週	英会話実習：模擬学会発表		英語を用いたコミュニケーション能力の腕試し（2）		
		14週	英会話実習：論文の書き方・実験マニュアルの読み方		英語を用いたコミュニケーション能力の腕試し（3）		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
		試験	表現			合計	
総合評価割合		60	40			100	
発言意欲		30	20			50	
理解力		30	20			50	